

飯伊地区 産業経済動向

No.495 2020/6
(2.7.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主 要 指 標		実 数	前 月 比	前年同月比
手 形 交 換 高 (飯田手形交換所扱)	枚 数	3,021 枚	34.4 %	17.1 %
	金 額	4,846,708 千円	26.1 %	17.3 %
う ち 不 渡 発 生 状 況	枚 数	0 枚	(前月 0 枚)	(前年同月 0 枚)
	金 額	0 千円	(前月 0 千円)	(前年同月 0 千円)
倒 産 件 数 (負債額1千万円以上) (5月)	県 内	6 件	(前月 9 件)	(前年同月 4 件)
	飯 伊	0 件	(前月 1 件)	(前年同月 0 件)
住 宅 着 工 戸 数 (飯田市、下伊那郡 総数)(5月)		43 戸	△ 40.3 %	△ 28.3 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(5月)		0.85 倍	(前月 1.07 倍)	(前年同月 1.31 倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新 車	1,955 台	42.9 %	△ 26.0 %
	中古車	766 台	49.6 %	△ 0.4 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (5月)	新 車	1,902 台	△ 32.3 %	△ 51.7 %
	中古車	1,087 台	△ 40.7 %	△ 9.4 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田インター分)	入	85,342 台	37.0 %	△ 20.4 %
	出	86,055 台	35.4 %	△ 20.7 %
中 央 道 利 用 台 数 (松川インター分)	入	59,792 台	30.6 %	△ 19.7 %
	出	58,670 台	34.8 %	△ 18.9 %
中 央 道 利 用 台 数 (園原インター分)	入	13,848 台	31.3 %	△ 6.1 %
	出	14,021 台	33.0 %	△ 4.4 %
中 央 道 利 用 台 数 (飯田山本インター分)	入	30,637 台	36.2 %	△ 17.7 %
	出	30,797 台	39.8 %	△ 14.3 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		631 件	15.6 %	378.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0 件	(前月 14 件)	(前年同月 16 件)
高 速 バ ス 乗 車 人 数	飯田～新宿	4,971 人	162.6 %	△ 79.8 %
	飯田～名古屋	4,194 人	191.5 %	△ 75.5 %
	飯田～長野	3,466 人	92.0 %	△ 63.5 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	936 人	— %	△ 95.3 %
市 内 循 環 バ ス 乗 車 人 数	左回り	3,130 人	56.9 %	△ 10.7 %
	右回り	2,705 人	32.1 %	△ 23.0 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (<http://www.iidashinkin.co.jp>) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



100%植物性インキ
[デューラリス100] を使用しました。

再生紙を
使用しています

概 況

製 造 業

6月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス53.8で、前月から24.8ポイント上昇。翌月予測はマイナス69.2で、前月から12.9ポイント上昇している。

電気、精密機械器具の売上は、前月比は業者により増減分かれるものの、前年比は減少～やや減少。とはいえ、景況感の悪化には至っていないとの声も。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比横ばい～やや増加。前年比は増加との声が多い。とはいえ景況感が好転した業者は見られない。先行きは弱含みとの見方で共通している。産業機器や医療機器向け部品の受注残高の前月比は、増加ないし横ばいとの声もあるが、こうした声は一部に止まり、減少～やや減少との声が多数を占める。建築用金属製品の販売は、前月比増加も、前年比は減少との声。自動車向け部品の生産は、景況感の好転には至らないものの、前月比、前年比とも増加との声。小型電磁機器の生産は、前月比減少との声。先行きも弱含みという。FA関連モーターの販売は、前月比やや増加との声。とはいえ「コロナによる世界経済への影響懸念される」など景況感は悪化しており、先行きも弱含みという。光学機器部品の受注残高は、前月比概ね横ばいも、前年比やや減少との声。電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みという。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比は概ね横ばい～やや増加。一部に景況感が好転した業者も見られたほか、先行き上向きと見る業者も多い。水引製品の売上の前月比は、減少～概ね横ばい。先行きも減少が見込まれている。漬物の販売は、前月比やや増加との声。「商品や販路によって売上の進捗に差が出てきそうな様子がある」という。

建 設 業

6月の建設業の景況DIはマイナス8.3で、前月から18.4ポイント上昇。翌月予測DIはマイナス23.1で、前月から3.6ポイント上昇。

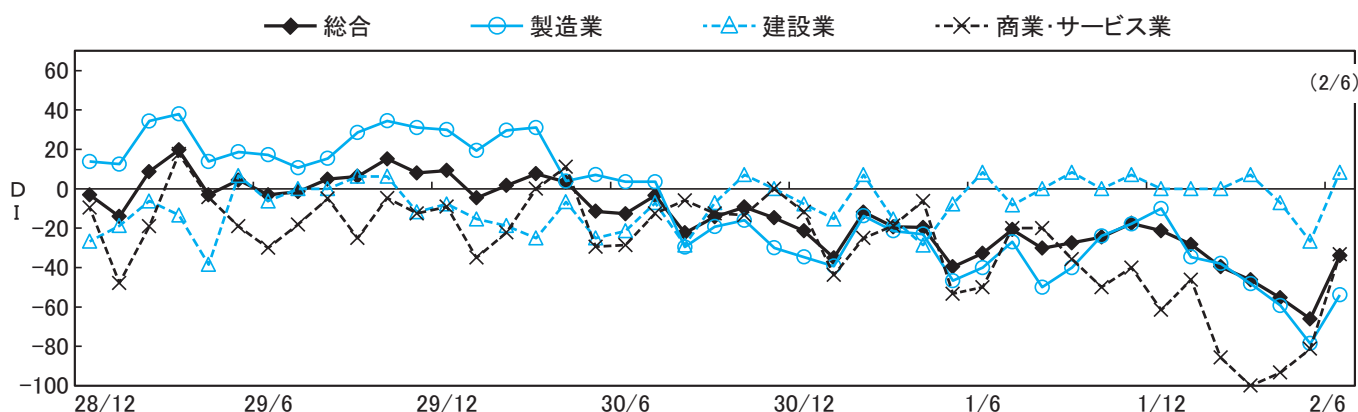
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約29.8億円、前月比631%増加、前年比では増減なし(7月15日調査時点)。当月の受注残高の前月比は、増加した業者、減少した業者相半ばする。「豪雨災害復旧工事が多くなり、測量・設計各社は忙しい。その後は工事業者が忙しくなる」といった声や、「4月から6月の公共事業の激減する時期に入ったまま、まだまだ受注残高が少ない」といった声が聞かれた。

当地区の5月の住宅着工戸数は43戸。前月比40%減少、前年比も28%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「新築住宅はますます」「コロナの影響で民間建築や住宅着工戸数が減少し、土木に比べ建築工事が少ない」などの声が寄せられた。

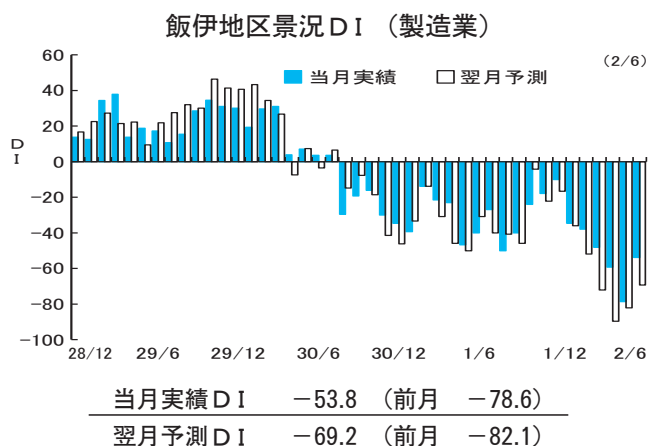
商業・サービス業

6月の商業・サービス業の景況DIはマイナス33.3で、前月から48.0ポイント上昇。翌月予測DIはマイナス28.6で、前月から21.4ポイント上昇。食料品の売上の前月比は、減少～やや増加と、業者により増減が分かれた。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感はやや悪化との声。電化製品の売上は、前月比増、前年比は減少との声。「特別給付金10万円が支給されたことにより、最終消費者の購買意欲が高まった」との声が寄せられた。OA機器の売上は、前月比やや増加も、景況感は横ばい。医療、介護関連機材の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少。減少傾向に歯止めがかかり、「消耗品の流通が回復しつつある。機材にも回復の兆し」という。市内料理店の売上は、前年比で減少～やや増加と業者により増減が分かれた。「夜の宴会が入りだした。宴会とテイクアウトで忙しかった」との声が聞かれた一方、「まだまだ予約が少なく、回復傾向とはいえない」といった声も聞かれた。市内宿泊施設の売上は、前月比増加、前年比はやや減少。「コロナの影響はあるが、人の動きが出てきた」など景況感もやや改善しているが、「夏の繁忙期も、夏休みの短縮等でどう動くかが予想できない」など、先行きを不安視する声も聞かれた。昼神温泉の売上は、前年比減少も、「長野県や村民対象のキャンペーン効果により、当初の見込みより売上があった」との声も。先行きに関し、「関東でコロナ感染者が多くなっており、今後の影響が心配」「団体バスも、8月後半には動きそう」などの声が寄せられた。タクシーの売上は、前月比増加も、前年比は減少との声。「昼間のお客様は戻りつつあるが、夜間の需要がなかなか戻ってこない」などの声。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数



当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス53.8で、前月から24.8ポイント上昇。翌月予測はマイナス69.2で、前月から12.9ポイント上昇している。

【2020年版中小企業白書・小規模企業白書から】

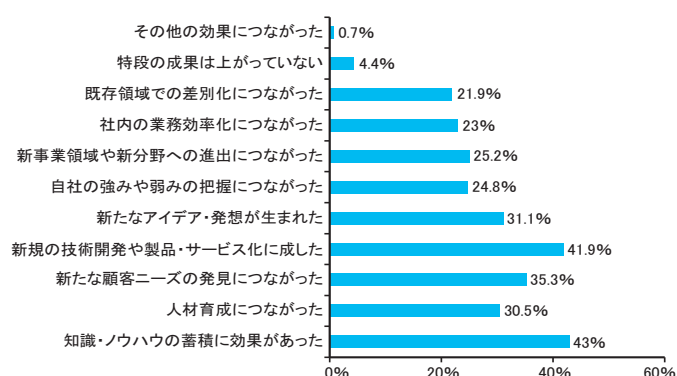
2020年版中小企業白書・小規模企業白書では、中小企業・小規模事業者に期待される「役割・機能」や、それぞれが生み出す「価値」に注目し、経済的な付加価値の増大や、地域の安定・雇用維持に資する取り組みを調査・分析している。

白書の分析は多岐に渡るが、当月調査先企業からは「企業間交流など、新しいチャレンジの必要を強く感じている」といった声が寄せられており、今回は白書の中からオープンイノベーションに関する分析を抜粋してご紹介する。

ご案内の通りオープンイノベーションとは、「組織内部のイノベーションを促進するために、意図的かつ積極的に内部と外部の技術やアイデアなどの資源の流出入を活用し、その結果組織内で創出したイノベーションを組織外に展開する市場機会を増やすこと」とされ、白書でも「外部の技術やノウハウを活用し、新しい技術開発や新しい製品化・サービス化を実現するオープンイノベーションの重要性が指摘されている」として、取り組み実態や労働生産性との関係を分析している。

オープンイノベーションにもいくつかの型があるといい、「外部技術を自社内に取り込む」アウトサイドイン型の連携では、19%が「取り組んだ」とし、45%に取り組む意向があるとのことだが、オープンイノベーションへの取り組みによって、「新規の技術開発や製品・サービス化」といった直接的なプロダクトイノベ

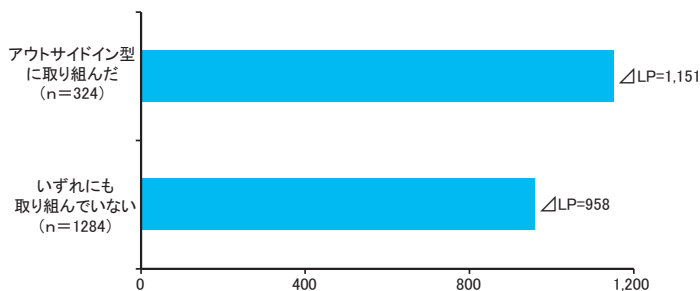
オープンイノベーションの取組効果



ションの効果のほかに、「知識・ノウハウの蓄積」「人材育成」「新たな顧客ニーズの発見」といった間接的効果をあげる企業の割合も高い。「特段の効果は上がっていない」との回答は5%未満にとどまり、何らかの成果を得た企業が多いことが分かる。

下のグラフは、オープンイノベーションと労働生産性との関係を示したもので、アウトサイドイン型のオープンイノベーションに取り組んだ製造業ではオープンイノベーションに取り組んでいない企業に比較して労働生産性の上昇幅が大きい傾向が見られるという。

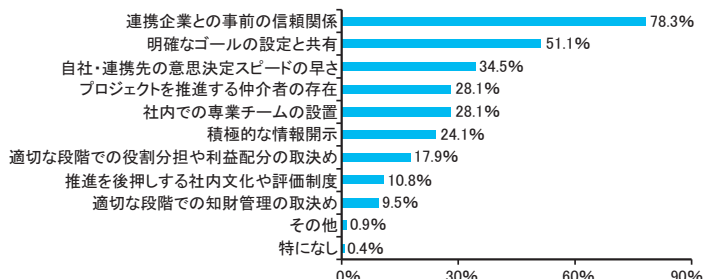
オープンイノベーションの取組状況別、労働生産性の変化



- 労働生産性＝(営業利益＋人件費＋減価償却費＋賃借料＋租税公課)÷従業員数。
- ΔLP(労働生産性の変化)とは、2018年時点と2013年時点の労働生産性の差のことをいい、平均値を集計している。
- 労働生産性の変化上位5%値以上の企業及び95%値以下の企業は外れ値として除外している。

図にないが、企業のオープンイノベーションの連携先を見ると、「国内中小企業が47%と最も多く、次いで「異業種の国内中小企業」30%、「同業種の国内大企業」23%などとなっているが、こうした連携を行う際、「連携企業との事前の信頼関係」、「明確なゴールの決定と共有」、「自社・連携先の意思決定のスピードの速さが重要であると回答する企業が多かった。

オープンイノベーションを成功させるために重要と考えるポイント（製造業 n=452）



- 複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。
- オープンイノベーションを成功させるために重要なポイントについて、上位三つまでを確認している。

（図表出典はすべて「2020年版中小企業白書・小規模企業白書」）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上は、前月比は業者により増減分かれるものの、前年比は減少～やや減少。とはいえ、景況感の悪化には至っていないとの声も。一部に、先行きは弱含みとの声。雇用面、設備面は、当面現状維持の様子。原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかったという。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比横ばい～やや増加。前年比は増加との声が多い。とはいえ、「コロナの影響もあって装置関連の設備投資が後ろ倒し。抑えられている」「FPD関連は減少」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。先行きに関しては、「8～10月は下がる」「8月以降の減

少が読めない」「秋口に生産調整とのこと。その先は分からない」など、弱含みとの見方で共通している。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、販売面では「コストダウン要請は強い」という。こうした中、一部に雇用面、設備面で積極的な声も。

産業機器や医療機器向け部品の受注残高、販売の前月比は、「受注が薄かった客先から注文が入り始めた」「順調とはいえないが、改善している」「FA関連は良好」「6月になった途端受注が回復したが、これは4、5月にストップした分が動いたものと思われる」「一部客先から次月以降納期のリピート品が動いた」など、増加ないし横ばいとの声もあるが、こうした声は一部に止まり、減少～やや減少との声が多数を占める。「医療機器向けで秋口に生産調整があり、減産」「航空機関連が減速。自動車関連は、悪かったが、少し動き出した」「車向け設備の動きが悪い」「見積案件もあるが、なかなかゴーサインが出ない」「精密加工部品、図面の流れがストップしている」「金、土、日休みが当たり前になってしまった」などの声。先行きに関し、「不透明。失注しないよう業務を見直していく」「FA関連は、今は安定しているが、先は分からない」など、不透明感が色濃い。

雇用面では、「一名退社したが、補充は予定していない」など現状維持との声が多数を占める中、一部に「正社員補充予定」「僅かに増員予定」との声も。販売価格について、「相見積が多く単価は下降」など、低下傾向にあるとの声が複数寄せられた。原材料、資材価格に関し「次月にアルミが少し下がるのでは」との報が寄せられた。

建築用金属製品の販売は、前月比増加も、前年比は減少との声。「まだまだ全体的に低調だが、少し回復の兆しもある」といった声が寄せられ、先行きに関する景況感は好転している。雇用面で「現場要員を増員」との声。

自動車向け部品の生産は、景況感の好転には至らないものの、前月比、前年比とも増加との声。先行きに大きな動きは見込まれていない様子。

小型電磁機器の生産は、前月比減少との声。先行きも弱含みという。雇用面で過剰感があるとの声も。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

FA関連モーターの販売は、前月比やや増加との声。とはいえ「コロナによる世界経済への影響懸念される」など景況感は悪化しており、先行きも弱含みという。

光学機器部品の受注残高は、前月比概ね横ばいも、前年比やや減少との声。「全体的に数量が減少」など景況感も悪化している。先行きも引き続き弱含みという。当月、原材料価格がやや低下したとの声が聞かれた。一部に、製品価格が弱含んでいるとの声も。

電気、電子製品の生産は、前月比やや減少、先行きも弱含みとの声。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。研究、開発人員の不足感を指摘する声が依然聞かれる。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比は概ね横ばい～やや増加。一部に景況感が好転した業者も見られたほか、先行き上向きと見る業者も多い。雇用面、設備面では大きな動きは見込まれていない。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかった様子。

水引製品の売上は、前月比は、減少～概ね横ばい。先行きも減少が見込まれている。「前月も前年比で減少したが、当月は更に悪化」「コロナには勝てないとは

いいながら、販売は近年にない落ち込み。一喜一憂することなく、明日への期待を持って終息するのを待つしかない」「自粛期間が終わり少しずつスポット注文も出るようになった。とはいえ以前の状態に戻るのには難しいように思われる」「同業も自社のことで手一杯。明るい話は聞こえてこない」「冠婚葬祭が、特に若者層を中心に減少している上に、コロナの影響で販売は落ち込んでいる。先行き不安は募るが、同業一丸となって凌いでいく必要を感じる」など、景況感は悪化した業者が多い。こうした中、「スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどは業績を伸ばしていると聞く。こういう御時勢だからこそ、季節を感じることができる水引製品に手を伸ばしていただくことを期待」との声が聞かれた。雇用面は概ね現状維持の様子。

漬物の販売は、前月比やや増加との声。「前月に比べ業務用製品で、若干ながら動きが出た。今後の動向を注視」という。「商品や販路によって売上の進捗に差が出てきそうな様子がある」という。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比概ね横ばい。先行き大きな動きは見込まれていないものの、景況感は弱含みとの声。当月、原材料、製品価格は横ばいで推移したという。

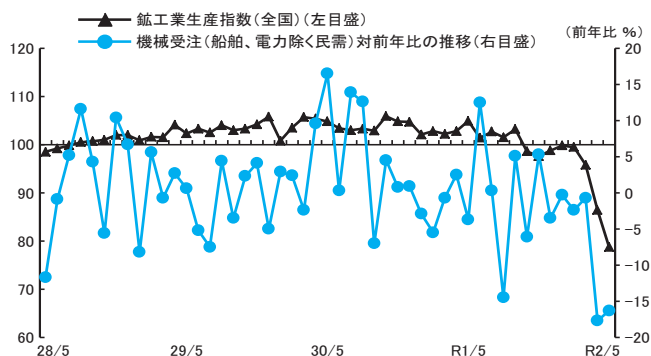
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比とも減少との声。「夏から秋は花火シーズンだが、中止の案内ばかり。イベント中止でポスターなど直接の印刷物が減るが、それに止まらず広報、館報といったものも頁数が減る」「仕事量復活の兆しが見えてこない」といった声が寄せられた。

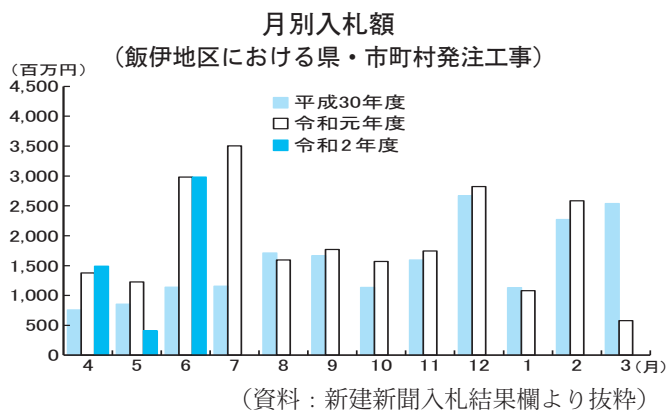
衣料品の販売は、前月比、前年比とも増加との声。「百貨店向けはほとんど発注がない」ものの、「マスクではファッション性、機能的性が重視されている。サージカルマスクよりも冷感、呼吸し易いものが売れ筋」「アイソレーションガウンの生産が佳境に入っており、各縫製工場とも躍起になって供給に追われている」などの声が寄せられた。受注が前月に比べやや減少しているという。「海外から仕入れるより、国産品に重きを置いて欲しいもの」との声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★営業力強化が必要。設備も考えている。
- ★補助金、助成金のメニューは様々あるが、利用を躊躇している部分もあるのではないかと。
- ★休業日を増やして経費を抑えている。
- ★設備の先行投資を考える。
- ★製造関係の取引先の休日が増えている。
- ★来春の採用、企業間交流など、新しいチャレンジの必要を強く感じている。

機械受注・鋳工業生産指数の推移





当月景況DI	-8.3	(前月 -26.7)
翌月予測DI	-23.1	(前月 -26.7)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約29.8億円、前月比631%増加、前年比では増減なし(7月15日調査時点)。

当月の受注残高の前月比は、増加した業者、減少した業者相半ばする。「国、県、市町村とも公共工事の発注が順調で、仕事が切れることなく忙しい」「昨年10月の台風19号被害の関係で、国、県の減災、防災での工事の発注が例年よりある」「国は三遠南信自動車道の発注、県、市においてはリニア関連工事の発注がある」「豪雨災害復旧工事が多くなり、測量・設計各社は忙しい。その後は工事業者が忙しくなる」「年度繰越業務があり、受注残高は前年比増」などの声や、「4月から6月の公共事業の激減する時期に入ったまま、まだまだ受注残高が少ない」「公共工事は少し出ているが、とても少ない」「建築の公共工事はまったくなし」などの声も寄せられた。

今月もコロナに関する声は複数あり、「例年になく公共事業の発注が少なく感じる。コロナの影響は大きい」との声のほか、景気そのものの冷え込みを感じるなどの声も。また今月は長雨による影響を指摘する声もあり、「施工中の工事が長雨によりストップしている」「新年度発注待ちの状況にあって、降雨災害等の応急工事など、最低限の工事量を確保」「土砂崩落等、緊急対応が増加」などの声が寄せられた。

人員に関しては、「業務量はあるが、技術者が不足」「下請け、パートアルバイト頼みの状況」「施工社員不足」「土木建築技術者の募集をしている」など、依然不足感は強い。先行きも不足感は強く、「今後、発注の工事が本格化すれば人手不足になる」「災害関連工事が増加した場合、人手が足りない」などの声が聞かれた。

設備投資に関しては、車両入替を予定する業者が複数あるほか、パソコン関連や新規プログラム導入を実施したとの声も寄せられた。

民需

当地区の5月の住宅着工戸数は43戸。前月比40%減少、前年比も28%減少している。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばい～やや増加。「新築住宅はますます」「新築の受注なし。

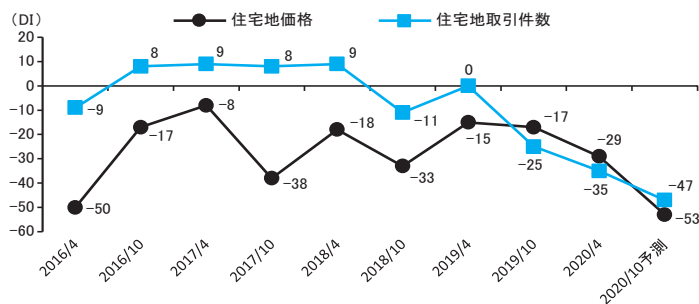
リフォーム、修繕工事のみ」などの声。コロナに関して、「建築工事そのものは、コロナの影響なく推移しているようで忙しい」「コロナの影響で民間建築や住宅着工戸数が減少し、土木に比べ建築工事が少ない」などの声が寄せられた。

人員に関しては官公需同様に不足感があり、「住宅展示場の営業を必要としている」「人員は現状も今後も不足」との声。

【長野県内の地価と不動産市場の動向に関するアンケート調査結果】

(一社)長野県宅地建物取引業協会、(一社)長野県不動産鑑定士協会は、長野県宅地建物取引業協会の会員に対するアンケートをもとに、県内各地域の住宅地価格や住宅地取引件数に関するDI値を公表している。本年4月の最新結果によれば、当地域では住宅地価格に関してリニア駅周辺以外の住宅地は依然厳しい状態にあり、総じてコロナの影響で来客が減少、購入意欲の停滞が見られ、先行きも景気低迷による不動産需要の落ち込みが懸念されているという。

飯伊地区の住宅地市況に関するDI値の推移



資料：(一社)長野県宅地建物取引業協会、(一社)長野県不動産鑑定士協会「第9回 長野県不動産市況DI調査」

建設資材

建設資材、塗料の売上は、前月比やや減少。先行きの景況感は横ばい。仕入単価が上昇傾向という。「コロナの影響に加え、悪天候もあり、7月は売上減少の見込み」などの声が寄せられた。

鋼材の売上は、前月比、前年比とも増加。「コロナの直接的な影響はなく、売上は確保。急激な変化は今のところない」などの声が聞かれたが、先行きは弱含みで、「影響が出始めるのはこれから」との声も。鋼材価格は、「荷動き全体は良くなく、値は弱い」という。

当月の生コンの売上は、前月比やや増加～増加、前年比は減少。主な出荷は、「三遠南信自動車道工事、砂防工事、バイパス工事、築堤護岸工事、治山工事に関わるもの」で、「リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の3%弱」という。

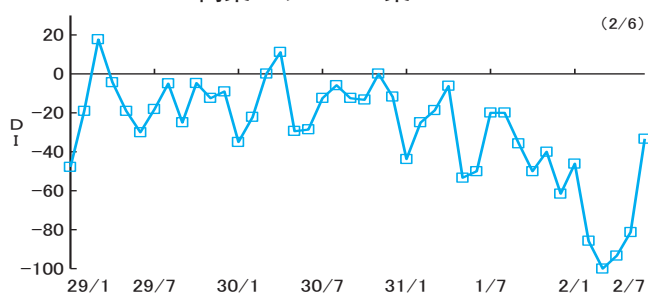
骨材の売上は、前月比やや増加、前年比は業者により増減が分かれた。「出水、増水で河川内土砂がよく動いている。当面、骨材の原材料確保に苦労しなくともよさそう」などの声が寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★建設関係も景気そのものが冷え込み始め、設備投資や個人消費の鈍化は大変な痛手。
- ★どんな業界でも同じだが、こういう厳しい時には内部留保が効いてくる。

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI -33.3 (先月 -81.3)

翌月予測DI -28.6 (先月 -50.0)

商業

食品品の売上の前月比は、減少～やや増加と業者により増減が分かれた。売上増の業者からは、「コロナの影響で4月、5月が落ち込んだ分、6月はやや回復」との声。逆に、売上減の業者からは、「コロナの感染リスク減少の状況下で、売上は少し減少傾向」「6月に入ってもイベント等の中止が続き、売上が大幅に減少」との声が聞かれた。景況感には改善は見られない。

【青果卸売市場】

販売は、前月比やや増加も、これは営業日数が多かった影響とのこと。先行きの景況感も横ばいも、「雨天の日が多く、品薄気味の状況」との声。

野菜は、「西日本で雨の日が多く、特に馬鈴薯、人参、南瓜が昨年比で高価格となった」「全体では入荷は前年並み、価格はやや上昇した」という。

また果実は、「旬の梅が収穫時になって実が落ちてしまい、ここ3年の内では大幅な不作。さくらんぼも同様に不作。西瓜は小玉西瓜の入荷が順調、終盤の苺も出荷が伸びた。全体では入荷はやや増加、価格は前年並み」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加も、景況感はやや悪化との声。先行きの景況感も弱含みという。当月、仕入、販売とも価格に大きな動きはなかった様子。商品在庫は当月やや増加、今後もやや増加の見込みという。

電化製品の売上は、前月比増、前年比は減少との声。「特別給付金10万円が支給されたことにより、最終消費者の購買意欲が高まった」「自宅に留まる時間が増え、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコンを新たに買い替えようとする動きが活発」との声が聞かれた。

OA機器の売上は、前月比やや増加も、景況感も横ばい。「以前より予定の案件により、売上高が確保できた」が、先行きの景況感悪化との声。そうした中、IT導入支援事業者としての登録を行った業者もあり、今後「補助金を活用した提案を進める」といった新たな動きも。

サービス業

医療、介護関連機材の売上は、前月比やや増加、前年比はやや減少。減少傾向に歯止めがかかり、「消耗品の流通が回復しつつある。機材にも回復の兆し」との声。

市内料理店の売上は、前年比で減少～やや増加と業者により増減が分かれた。売上増の業者からは、「夜の宴会が入りだした。宴会とテイクアウトで忙しかった」との声が聞かれた一方、売上減の業者からは、「まだまだ予約が少なく、回復傾向とはいえない」「予約の入り方も直前になってきており、7月の予約状況も明るい要素はない」との声。仕入価格は、業者用食材の少なさからやや上昇しているという。

市内宿泊施設の売上は、前月比増加、前年比はやや減少。客単価は前月比やや増加、前年比はやや減少との声。「コロナの影響はあるが、人の動きが出てきた」「宿泊人数の増加で売上が増加」という。景況感もやや改善しているが、「コロナ第2波の可能性と、大雨の影響で人の動きが悪くなった」「夏の繁忙期も、夏休みの短縮等でどう動くかが予想できない」と、先行きを不安視する声が聞かれた。

昼神温泉の売上は、前年比減少。ただ、「長野県や村民対象のキャンペーン効果により、当初の見込より売上があった」「自粛期間に入る前にキャンセルされたお客様に案内状を出したところ、若干ではあるが予約や来館があった」との声が聞かれた。次月以降の景況感悪化～横ばいで、「関東でコロナ感染者が多くなっており、今後の影響が心配」「中京・東海地域のお客様だけでは弱く、あらためて関東のお客様の支えが大きいと感じる」と不安を感じる声がある一方、「団体バスも、8月後半には動きそう」と今後に期待を寄せる声も。

タクシーの売上は、前月比増加も、前年比は減少との声。「昼間のお客様は戻りつつあるが、夜間の需要がなかなか戻ってこない」「週末に比べ平日は厳しく、お客様が戻った感じはない」などの声が寄せられた。またLPG価格の値上がり傾向により、仕入単価がやや上昇との声も。

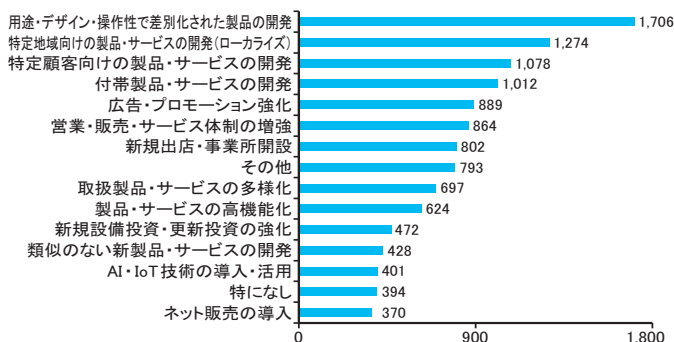
【調査先企業の声】

- ・例年に比べると梅雨が長い、客足が伸びない。
- ・以前にも増して、朝市場に仕入に来る業者が少なくなっている。
- ・お客様の消費動向に注目して、変化に対応していきたい。対応できなければ厳しい状況になる。
- ・コロナ禍後を見据え、設備投資を行いキレイな店であることを心がけていく。
- ・首都圏と比べると地方の方が稼働は良い。昨年対比で大幅減少しているマーケットで戦う戦略・戦術を持って、この状況を乗り越えていきたい。
- ・宿泊に関して、やはり料金は安い方に問い合わせがあるが、少々料金が上がっても内容が良ければお客様は納得してくれるように感じられる。
- ・どの企業も体力勝負ではないか。零細企業の毎月の運営がどこまで耐えられるか不安。

【2020年版中小企業白書・小規模企業白書から】

2020年版中小企業白書・小規模企業白書では、付加価値増大のための取組を様々な分析しているが、「差別化」もまた付加価値増大に資するものとして、差別化に向けた取組と労働生産性上昇との関係性を分析している。これによると、「用途・デザイン・操作性で差別化された製品の開発」といった取組で労働生産性の上昇幅が大きい傾向があるという。

サービス業における差別化の取組別と労働生産性の変化 (2013年→2018年 単位:千円/人)



- ・△LFP(労働生産性の変化)とは、2018年時点と2013年時点の労働生産性の差のことをい、平均値を集計している。
- ・主たる業種が宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、学術研究、専門・技術サービス業、サービス業(他に分類されないもの)である企業

流れ雲の目(36) スパット

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

もう50年も前のことだが、ボーリング場が日本中に乱立し爆発的に流行ったことがある。土日祝日の日中は、とにかく何処のボーリング場也大混雑で何時間待ちという状態であった。そこで早朝ボールと言って、休日の朝早く行くと幾分空いており、待たずにできるのと安いのでよく行ったものである。

皆さんもボーリングをしたことがあると思いますが、球を投げる時に遠くにあるピンを狙うのではなく、3メートル位先の目印を見て投球する事は経験があると思います。「スパット」という言葉を聞いたことあると思います。ボーリングでは投球地点の3メートル位先のレーン上に並んでいる七つの三角形をスパットといい、球を通過させる目印となります。右利きの人はだいたい球がやや左にカーブするので右から2枚目か3枚目のスパットを狙って投げるとストライクが取れるとかいろいろと研究したものです。目標物に対して大きく距離のある場合には目先の通過点を決めて方向を定めることで目標位置に少しでも近づけられるのです。ゴルフでも200ヤード以上先の目標に向けて球を打つのだけれど、ティーショットをするときボールをどこにセットしどの方向にスイングするかを考えなくてはならない。250ヤード先を睨みながら、ティーアップしたボールと着地目標位置との線上に目印を見つけ、その方向にボールを打つことになる。遠くの目標に到達させるには、その通過点となる位置、方向を決め着実に進むしかない。遠くの目標を狙うときはその線上の、あるポイントに照準を合わせることで正しい方向性を見極められる。

会社の経営にしても10年先はこうしたい、こう成りたいと目標を決める、そして通過点の3年先はこうだ、2年後はこうだと決めて進むはずであり、今年はこのようにしようと決めて行かなくてはとても先のことは成就しない。

何事も大きな先の目標を決め、その手前の何箇所かの通過点の目標を決めていくものである。「スパット」この目印を明確に決めそれを確実に実行することが、ボーリングでもゴルフでも、そして会社経営でも非常に大事なことである。

突然の質問ですが、あなたの会社に企業理念はありますか？

目先の利益で頭が一杯でとても理念なんて考えてる暇はないよという声も聞こえてきそうですが、実は儲けるためには理念が必要なのです。どの会社も社長一人だけで頑張れば良いと言うものではありません、社員はもとより客先や仕入れ先、そして周りの関係者の協力が必ず必要となるのです。こうした周囲の協力を引き出すためにはお金だけではなく、その仕事に対する社長の情熱ややる気、意味や目的、将来の姿を明確に示す必要があるのです。人はお金だけでは動きません、お金以外の何か意義や価値のあるものに心を奮わせ動くのです。人を動かすにはやはり大義が必要なのです、その大義がより力を発揮してくれます。その力を出し向かう方向が、理念に基づいた具体的な目標なのです。

ボーリングのスパットの例を出しましたが、部下には具体的によく分かる直近の数字や実行施策を示す必要があるのです。遠くを見つめた成りたい姿、目的、意義が理念であり、それに向かった線上の通過点の具体的な数

字を明確に示すことが経営目標なのです。理念が事業の方向付けをして組織を一体化してくれるのです。

理念は会社が進むべき方向を示し、選択の迷いをなくし、全社員の思考を一致させてくれる大切なものなのです。しかしこれが曖昧だと、会社を伸ばすための根源になる社長の思考力意思決定力がブレてしまい、その場限りの判断によって社員は大混乱に陥ってしまいます。社長は会社の向かう明確な方向、到達目標、通過時点の具体的な経営計画、数値目標を示し、従業員は各自自分の役職、立場、担当仕事を踏まえ今年の具体的数値目標を決め、達成するための実行施策を作成することが必要です。

自分の人生計画も同じで、若い人なら幾つで結婚して、子供は何人欲しいか、家の購入は、子供の進学はどうする、それらの資金計画は、会社における立場は幾つでどうなる、といった人生計画を是非作成してください。この人生計画はいつでも変更可能であり、見直しをしていくことです。

社長の立場であれば、会社の成長と自身と家族の問題、承継も含めて将来像を明確に描き、その通過時点、スパートをよく見極めて邁進していただきたいと思います。

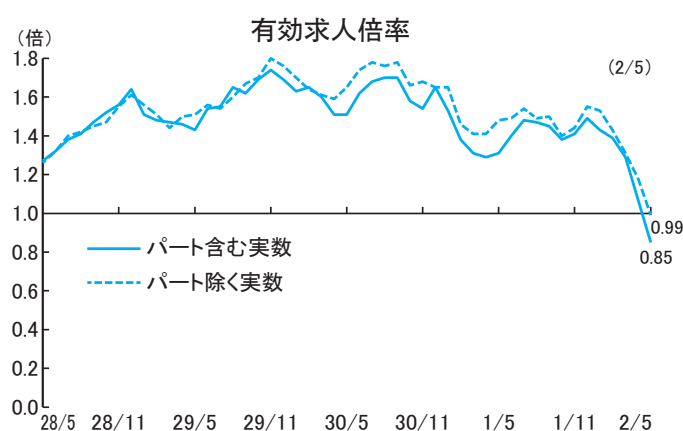
儲ければ良いというだけではなく、自分で納得のいく人生、会社経営をすることがひいて利益に繋がり、全社員の幸せを生むのです。遠くの目標を見据えて、着実に直近の具体的な目標を一步步クリアしていきましょう、「スパート」自分だけの独特の目印を決め実行してください。強い信念と行動、将来を見る目を養いコロナに負けず大いに羽ばたき、勝ち抜くことを願っています。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

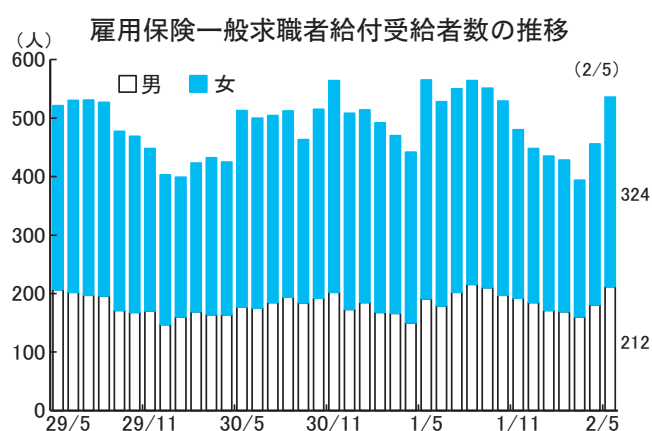
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見しお話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 地域サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



令和2年5月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で0.85倍と、前月から0.22ポイント低下。パートを除く実数も0.99倍で、前月から0.19ポイント低下している。



令和2年5月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は31人増加、女性も49人増加。全体では536人で、前月から80人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

ウィズ・コロナ時代の新幹線はどこへ向かうのか

フォーラム「新幹線は地域をどう変えるのか ～ウィズ・コロナ時代に向けて～」より

新幹線研究の第一人者で、3度に亘り来飯いただいている青森大学社会学部櫛引素夫教授が主催される新幹線フォーラム。本年は「新幹線は地域をどう変えるのか～ウィズ・コロナ時代に向けて～」と極めて今日的なテーマにより去る7月4日に開催された。本フォーラムは毎年1回青森市で開催されているが、今回はコロナ禍にあることを踏まえ、Zoomによるオンラインミーティングとなった。



青森大学社会学部 櫛引教授

【基調報告】

櫛引素夫 青森大学社会学部教授

■ ビフォアコロナの新幹線

ビフォアコロナ時代の総括として、資料1・2は所属する経済地理学会が昨年10月、インバウンド客でごった返す登別温泉で開催したシンポジウムでの発表シートで、登別地域がどうしたら北海道新幹線時代に備えられるか、という論点整理と予察のための資料。

新幹線がもたらす大きな条件変更 新幹線の開通を巡り、沿線や関係組織の間で異なる利害に対し、調整や合意形成を迫られる。

「予測可能なこと・変えられるものごと」と「予測困難なこと・変えようがないこと」 予測困難であるが備えておくべきことがあるのでは、と提起したが、今回のコロナが正にこれであった。

2025年問題 団塊の世代が後期高齢者に入り介護・福祉の対象となって旅行需要＝移動ニーズが減少する。

人口減少、労働力不足、IT社会への対応 人口減少による労働力不足とIT対応（ITにより消失する業務、新たに生まれる業務）。これについては最近、有効求人倍率が低下しており、論点整理が必要な事象がみえる。

地域のバージョンアップ 新幹線「開業効果」ではなく、新幹線がもたらす変化に対応し、地域の「もの、こと、ひと」をバージョンアップさせること＝「新幹線効果」。これはまだ有効な概念との感触がある。

「移動ニーズ」「ビジネス」そのものの変質 自動運転などの技術により移動が今後どうなるか、これがビジネスにどう関わってくるか。

「なくなる仕事」「これから生まれる仕事」 AIやロボットにより無くなる仕事、生まれる仕事。

インバウンド対策 ウィズコロナの項で詳述。

「行ったり来たり社会」「分身の術」 人口（特に若者）を地域間で奪い合うことは人口減少社会においては無意味。若者が行ったり来たりして各地域で活躍して貰う、そのための新幹線という観点。これがどうなるか。

基調報告資料1 櫛引教授提供（以下同じ）

ポイント（2019.10、経済地理学会シンポジウムから）

- 新幹線がもたらす「大きな条件変更」
- 新幹線沿線の「相場観」と「リーチ」（木古内町で金沢のことを尋ねられる）
- 現時点で「予測可能なこと」「変えられるものごと」？
- 同じく「予測困難なこと」「変えようがないこと」？
- どれくらい「2025年問題」への備え
- 地元と調和した産業としての観光（金沢のオーバーツーリズム）
- 人口減少、労働力不足、IT社会への対応
- 世界観、歴史観、文化観、人生観、幸福観
- ★「地域のバージョンアップ」という新幹線効果

基調報告資料2

新幹線と将来像（経済地理学会シンポジウムから）

- 破壊的イノベーションの到来・普及は「予測困難」
cf.スマートフォン本格普及（iPhone）から11年
- 自動化・無人化・ICT進展・ドローン普及などに伴う「移動ニーズ」「ビジネス」そのものの変質？
- 「なくなる仕事」と「これから生まれる仕事」
- インバウンド対策…二セコや白馬で起きていること
- 「行ったり来たり社会」「分身の術」装置

フォーラム リーフレット

オンライン・フォーラム

新幹線は地域をどう変えるのか

ウィズ・コロナ時代に向けて

主催：青森大学・櫛引研究室 協力：あおもり新幹線研究連絡会

2020年7月4日（土）13:30～15:00 Zoom

▼定員49人：参加無料

▼テーマ
・「ウィズ・コロナ」の新幹線
・コロナ禍と新幹線
（開業済み・未開業・リニアの各沿線）
・フリートーク
「新幹線は地域をどう変えるのか」批評など
（古今東西より2020年2月発行）

コロナ禍は世界中の暮らしと経済活動を一変させています。多くの人が急速に移動することにより「幸せ」を追求する手段と位置付けられてきた新幹線も、その意義があらためて、問い直されています。一連の影響は、新幹線や地域にいつまで、どこまで、どのような変動をもたらすのか、建設中の地域の将来は、そして今、なすべきこと、してはならないことは――、昨年、開催してきた「新幹線フォーラム」を、今回初めて、Zoomに場所を移し、オンライン企画として実施します。

※参加に希望の方は、下記フォームからお申し込みください。
https://forms.gle/mY67N23mxcTgR8
※ミーティングID・PWを、送ってご連絡します。
※当日の出席を記録のため録画します。
（YouTubeで参加希望者は、録画設定でお願いします）
※その他、詳細はあらためて連絡します。

※お問い合わせ：青森大学社会学部 櫛引研究室
0117-739-2001（内線231） E-mail: kibi@kenken.ac.jp
青森大学・2020年度教育研究プロジェクト申請中

■コロナ禍での新幹線

ビフォアコロナの項で「巨大な条件変更」を挙げたが、「さらに巨大な条件変化」を迫られているのがコロナ禍である。最大の要因は「移動そのものの制約（規制＋需要縮小）」になる。コロナ禍により、世界中の暮らしと経済活動が一変し、「多くの人が高速に移動することにより『幸せ』を追求する手段と位置付けられてきた新幹線」の意義が改めて問い直されている。

これからの新幹線を考える上でのポイントを整理したのが資料3見取り図。まず中央に新幹線、これは鉄道会社のビジネスモデル、路線そのものの採算性、鉄道会社の技術・人材により規定される。新幹線の需要では、国内需要には、「暮らし」「ビジネス」「観光」の軸が置けるが、その背景を右枠内の諸要素に整理出来る。海外需要は圧倒的に「観光」で、背景として旅行者層、企業の活動、マインドなどがある。

国内・海外需要の中で観光面のファクターとして人材や観光資源などがある。一方で北陸新幹線の敦賀沿線とカリニア新幹線沿線のように都市機能としてのインフラ整備、ハード面が大きい。他に高速バスや航空業界がどうか見ていく必要がある。これに国・地方の政策がどう関わるか。

■具体的なポイント・懸念

具体的ポイントとして資料4・5に掲げる。ビジネスそのもの 景気後退がどれ程で、日本企業の国際競争力はどこまで減衰するか。ビジネスのスタイル・習慣の変容 テレワークやビデオ会議の普及が今後どうビジネスを変えていくか。ICT未対応企業がどれだけ淘汰されるか。

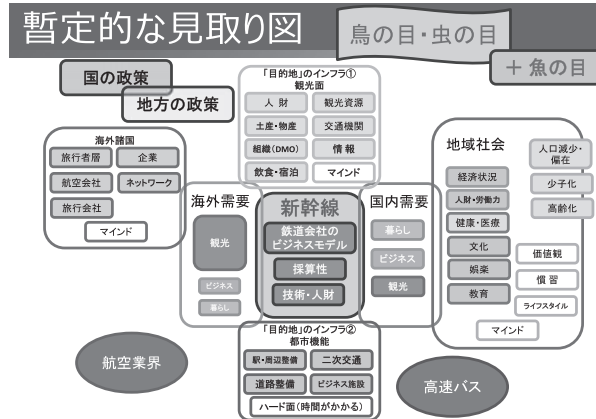
インバウンド・観光についてであるが（資料5）、安価な旅行は戻ってくるか IATA（国際航空運送協会）の予測では、国際線の需要復旧は2024年、国内線同は2022年となっている。キャリア、旅行会社の体力は 経営面や人材、ノウハウがコロナ収束まで持つか。

各国の旅行者層（中間層・富裕者層）の行方 経済力、マインド、健康状態が元に戻るのはいつか。中国には旅行に出かける気満々の層が億単位で居るというが。

日本は再び目的地に選ばれるか これは微妙なところ。

受入側の態勢とマインド 不安定な雇用状態の添乗員のノウハウ、マインドが需要回復時まで維持されるか。他県ナンバーにさえ拒絶反応を示している地域住民が、外国人が再び地域に入ってくることを許容できるか。

基調報告資料 3



基調報告資料 4

具体的なポイント・懸念

- ビジネスそのものへのダメージ
 - ・景気後退
 - ・日本企業の国際競争力の減衰？
- ビジネスのスタイル・習慣の変容
 - ・テレワーク/ビデオ会議の普及
 - ・ICTに対応できない企業の淘汰
- 観光、特にインバウンドの行方（後述）
- 観光のエコシステムの衰退・変容（後述）
- ★「暮らし」との相克、地域感情の推移

V-RESAS

基調報告資料 5

インバウンドの行方

- 「安価な旅行」は戻ってくるか？
 - ・国際線の需要復旧は2024年？（IATA）
 - ・国内線の需要復旧は2022年？（ 〃 ）
- キャリア、旅行会社の体力は？（経営面、人材面、ノウハウ）
- 各国の旅行者層（中間層・富裕層）の行方？（経済力、マインド、健康状態）
- 日本は再び「目的地」として選ばれるか？
- 受け入れ側の態勢とマインドは？
 - ・添乗員の苦境
 - ・他県ナンバーにすら拒絶感…いつ解消？

基調報告資料 6

日本社会の変容どこまで？

- 感染への警戒感・移動への警戒感
- 医療体制の疲弊と維持（人材育成時点から）
- 企業、家庭の経済力とマインド
 - ・「2021年度」の準備期間に変容が顕在化？
- 鉄道・航空各社の苦境とビジネスモデル
 - ・既に生じた人材面の断絶（採用中止）
- もともと進んでいた高齢化、帰省需要の減衰
- ★「東京一極集中モデル」どうなる？
- マイクロツーリズム志向の行方？
- 「地方志向・回帰」の行方？
- 大学・学びの行方？（人口移動の一大要因）
- 「脱印鑑・FAX」進むか？⇔オンライン化の付加価値

■日本経済・社会の変容と転換

日本経済・社会の変容と転換の方向について（資料6・7）、
企業・家庭の経済力とマインド 今年後半に2021年度予算など準備が始まると疲弊・変容が顕在化し、本当に正念場を迎える。リーマンショック時には、学生採用の底はその年ではなく翌年に来た。

鉄道・航空会社の苦境 固定費負担大などのビジネスモデルがどうなるか。航空会社の採用停止で人材面の断絶の影響は。

高齢化・帰省需要の減退 東北などでは、中長期的に年寄りが都市部の家族に引き取られて盆・正月に帰省する先が無くなる。

他方で新幹線に悲観的な材料ばかりでない。

マイクロツーリズム 星野リゾートが提唱しているスタイルが人の行動や人生観にどれほど変化をもたらすか。

地方志向・回帰 都会から地方へ住居を移す若者がみられる。

大学・学びの行方 18歳の人口移動の中で大学進学は大きな部分を占めるが、大学で学ぶことの相場観が変わる可能性がある。

脱印鑑・FAX 業務プロセスでの錯誤がどこまで整理されるか。

■東京一極集中をほぐす

人口減少・偏在と高齢化や「日本流」の帰結 もともと問題化していたものが露わになった。東京オリンピックまではインバウンドで稼いできたが、その中身は「安くておいしい国」という、国の価値を損なう方向だった。鉄道会社のビジネスモデルの将来像

リニア中央新幹線は、今週開業延期やむなしが報じられたが、鉄道会社のビジネスモデルがどう変わり、北海道新幹線・リニア中央新幹線はどうなるか。

「迅速な移動が地域を幸せにする時代」 移動の価値や費用対効果をどう捉えるかだが、結局前提は東京一極集中。東京に人やお金やノウハウが詰まっていて、それを地方に引っ張ってくる、あるいは行ったり来たりさせる。そのための迅速な移動。地方がどうやっても東京のくび木から脱することができなかった。

東京は巨大地震を警告されているが何もしていない。富士山噴火が発生すれば破滅必至。今回のパンデミックにより固まって住むリスクは明らかで、本気で100年の大計に立った対応ができるか。明日は東京都知事選だが、東京がまともな施策を行わないと東京を経由した移動もできない。日本が東京に命運を預けるこの状況に際し、新幹線を使って東京一極集中をほぐし、地方に散らしていくという議論の立て方があるのではないか。

■檳引教授コメント ～飯伊地域に向けて～

今回のフォーラムで、新幹線学とは「新幹線を通して、地域や社会を考える営み」と、あらためて定義できたように感じます。オンラインイベントの「参加者集団」が、新型コロナウイルスの時代に、驚くほど短期間に形成された、そのことが驚異的です。個々の方々とは個別につながっており、このような方々が「一堂に会する機会」が実現しました。Zoomにせよビデオ会議システムにせよ以前からツールはあり、物理的にはいつでも実現可能だったのです。では、何が欠けていたか。「こんなミーティングができる」という発想、意思、あるいはビジョンが欠けていたのです。

リニアが来て、本当に地元が生き延びようとするなら、このようなDX（デジタル・トランスフォーメーション）でどれだけアドバンテージを確保できるか、が生命線です。リニアのスケジュールが不透明な状況下こそ、DXによるアドバンテージの確保が大きな宿題になります。どのみち、避けて通れない課題です。

（文責：しんきん南信州地域研究所）

基調報告資料7

中括

- もともと進んでいた人口減少・偏在と高齢化
- もともと問題化していた「日本流」の帰結
- 対策としてのインバウンド依存
 - ※「安くておいしい国」を支えていたもの
 - ※「2020TOKYO」後への懸念もかねてから
- 「行ったり来たり社会」どうなる？
- 鉄道会社のビジネスモデルの将来像
 - ※北海道新幹線、リニア中央新幹線の行方
- ★「迅速な移動が地域を幸せにする時代」は再訪する？
 - ※移動の価値、費用対効果（経済、社会、文化）
 - ※「東京一極集中」依存？（共依存？）

基調報告資料8

仮置きで見えてきた中長期的カギ

★「東京一極集中」からの転換ができるか？

- ・巨大地震
- ・富士山噴火
- ・価値観、経済的、社会的な「閉塞」
- ・そこへパンデミック
- ※7月5日都知事選…知事の権限の意味

【フリーストーク】

筒井隆彦 飯田信用金庫本店営業部マネジャー

引き続きオンラインフリーストークに移った。当地域からフォーラムに参加した当金庫本店営業部筒井隆彦マネジャーがレポートする。

参加者は45名。行政では北陸や北海道、東北、九州の県・市の新幹線担当部局から、中には管理職を含む複数の職員がオンライン参加する自治体がありました。他に経済団体職員、鉄道事業（JRからも）など交通・観光事業に従事する社員、個人事業者、新幹線研究者、金融機関職員、大学教員・学生、はたまた自称鉄オタなど様々でした。

私は豊丘村リニア活用戦略研究会に参加してリニア開通を見据えた村への提言に取り組んでおり、櫛引先生に研究会で講演をいただいた縁で参加しました。

フリーストークは、参加者が一回り自己紹介と感想を述べることから始まり、まとまった議論というよりも正にチャットのレベルでしたが、いくつか論点のポイントがありました。

■新幹線と競合交通機関

新幹線と航空路、並行在来線、バス路線などとの共存関係について、「都市間（特に両側あるいは地方側の拠点都市間）の移動時間短縮効果にばかり注目してしまうが、途中の停車駅間での移動がある程度存在しないと、新幹線と在来線が共倒れして、結局飛行機でもよかったとなりかねないことを懸念。また、地方によっては空港の維持に県が絡んでいるところがあり、全部は維持できない」との指摘がありました。

■新幹線と貨物輸送

新幹線が貨物輸送を扱うことの是非が提起されました。「上越新幹線で実験している」との報告や、「新幹線沿線では物流ヤードの候補地が見当たりにくい」との意見が出るなど、現状では新幹線での貨物輸送は難しいということになりました。

■コロナと新幹線

現在のコロナと東京一極集中とを重ね合わせた議論がありました。

基調報告での新幹線を東京一極集中からの転換に生かすことについて、「具体的にはどうしたらよいか」という発言がありました。「今のコロナ罹患者数から鑑みると東京感染者124人は東京中心主義・経済至上主義が強化されている」や、「地方との受け止めとのギャップが進んでいる」という意見。「青森では県内だけの宿泊キャンペーンが好評だったが、GOTOキャンペーンで広域になると、東京からの移動はフリーなので拒絶はできないとの困惑の声がある」などです。

特に東京一極集中との関連で、「コロナ時代で分散可能な地方が持続可能だとすると新幹線は大きな変数になる。逆に言えばコロナに乗じて四国や東九州にも整備すべきという論法も可能」。これに対し、「新幹線はそれ自体が東京一極集中を加速するツールになっている。現実の路線網を見てもそう思う」。「東京は非常に便利であるから、さらに集積度が高まる」や「地方都市だけ（新幹線で）結ぶ。要は大都市に行きにくくする。無理かな」といった声もありました。

■フォーラムに参加して

先生からのヒント「リニア開業は地域バージョンアップの起点」。コロナ禍は時間軸を5年から10年分早めました。リニア中央新幹線の活かし方について新たな視点で考えることも必要。引き続き皆さまから多くの知見をいただき当地のバージョンアップを考えたいと思います。

（飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア対策三遠南信対策室 加藤 修平）



飯田信用金庫本店営業部
筒井隆彦マネジャー

略 歴

平成9年 飯田信用金庫入庫
上飯田支店、上郷支店、大島支店などを経て
同30年より現職
同29年 豊丘村リニア活用戦略研究会に参加
村内若手メンバーと共に村のリニア対応のあり方を検討している

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高 速 バ ス 乗 車 人 数							
	飯 伊 地 区		飯 田 ～ 新 宿		飯 田 ～ 名 古 屋		飯 田 ～ 長 野		伊 那 ・ 駒 ケ 根 ～ 新 宿	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比
	戸	%	人	%	人	%	人	%	人	%
平成26年	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8	—	—
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1	—	—
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8	—	—
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1	—	—
30	637	△ 9.6	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4	—	—
令和元	710	11.5	326,056	△ 0.3	226,581	3.0	108,454	△ 3.9	263,821	—
平成31. 4	51	△ 28.2	26,487	2.8	18,656	3.9	9,366	△ 1.1	21,794	—
令和元. 5	60	△ 3.2	27,951	1.0	19,000	4.2	9,924	△ 1.3	22,632	—
6	57	7.5	24,662	2.4	17,123	6.6	9,501	△ 2.6	20,083	—
7	64	146.2	26,294	0.5	18,357	7.3	9,422	△ 1.5	21,589	—
8	49	6.5	36,863	0.4	22,870	0.4	9,253	△ 8.7	29,454	—
9	70	70.7	27,864	1.9	18,823	2.0	8,673	△ 4.6	22,699	—
10	52	10.6	18,730	△ 31.5	19,223	3.7	8,848	△ 10.7	15,972	—
11	98	3.2	27,708	5.0	18,445	3.3	8,873	△ 7.6	21,979	4.5
12	66	50.0	28,628	0.7	18,558	2.1	7,906	△ 6.2	22,589	△ 2.3
令和 2. 1	107	91.1	26,833	0.4	17,895	0.2	7,957	△ 5.7	21,153	0.5
2	38	△ 5.0	20,827	△ 11.2	15,077	△ 13.4	7,455	△ 11.4	16,952	△ 9.5
3	44	△ 6.4	11,287	△ 63.2	8,674	△ 57.2	4,472	△ 54.6	9,406	△ 62.7
4	72	41.2	1,373	△ 94.8	2,087	△ 88.8	2,122	△ 77.3	1,472	△ 93.2
5	43	△ 28.3	1,893	△ 93.2	1,439	△ 92.4	1,805	△ 81.8	0	△ 100.0
6	—	—	4,971	△ 79.8	4,194	△ 75.5	3,466	△ 63.5	936	△ 95.3
資料出所	長野県建設部住宅課		信 南 交 通 株 式 会 社							

項目 年月	自 動 車 新 規 登 録 台 数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有 効 求 人 倍 率		
	新 車		中 古 車		長 野 県	飯 田 管 内	
	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	季節調整値 (但、年平均は実数)	パート含む実数	パート除く実数
	台	%	台	%	倍	倍	倍
平成26年	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	1.69	—	—
令和元	29,312	6.5	8,548	16.3	1.60	—	—
平成31. 4	2,291	20.7	881	40.3	1.66	1.29	1.41
令和元. 5	2,236	17.9	697	16.8	1.66	1.31	1.48
6	2,643	20.7	769	4.3	1.63	1.40	1.49
7	2,733	22.6	800	29.7	1.60	1.48	1.54
8	2,234	5.9	622	△ 3.1	1.57	1.47	1.49
9	3,342	27.4	804	36.5	1.56	1.45	1.50
10	1,796	△ 18.8	761	22.2	1.53	1.38	1.40
11	2,100	△ 8.4	652	14.0	1.51	1.41	1.44
12	2,010	2.5	660	13.0	1.51	1.49	1.55
令和 2. 1	2,006	6.3	504	10.3	1.48	1.43	1.53
2	2,226	△ 6.1	692	25.1	1.45	1.39	1.43
3	3,633	△ 1.0	914	2.5	1.39	1.29	1.31
4	1,587	△ 30.7	806	△ 8.5	1.29	1.07	1.18
5	1,368	△ 38.8	512	△ 26.5	1.12	0.85	0.99
6	1,955	△ 26.0	766	△ 0.4	—	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田		

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手 形 交 換 高		倒 産 件 数 (負債額 1 千万円以上)		信 用 保 証 承 諾 (飯田支所管内)	
	枚 数	金 額	長 野 県 内	飯 伊 地 区	新 規 保 証	前 年 比
	枚	千円	件	件	件	%
平成26年	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	93	20	1,815	△ 5.2
令和元	37,047	51,833,945	79	8	1,842	1.5
平成31. 4	3,027	3,785,301	7	1	129	6.6
令和元. 5	3,616	5,248,472	4	0	144	△ 21.3
6	2,580	4,130,285	3	1	132	△ 11.4
7	3,633	4,789,801	5	0	163	12.4
8	2,600	3,662,131	6	0	145	△ 1.4
9	3,281	4,833,989	7	3	178	20.3
10	3,061	3,297,989	6	0	148	10.4
11	2,453	2,859,532	8	2	146	5.8
12	3,356	4,487,104	10	0	207	38.0
令和 2. 1	3,114	4,044,572	8	3	130	3.2
2	2,486	3,377,156	6	0	148	△ 1.3
3	3,306	6,007,961	3	0	229	31.6
4	2,714	4,053,982	9	1	259	100.8
5	2,248	3,844,624	6	0	546	279.2
6	3,021	4,846,708	—	—	631	378.0
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数（インターチェンジ出入合計）							
	飯 田 I C		松 川 I C		園 原 I C		山 本 I C	
	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成26年	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1
令和元	2,741,865	△ 0.9	1,836,395	△ 1.9	405,661	△ 4.3	1,015,783	△ 0.2
平成31. 4	226,394	0.6	146,763	0.7	45,245	△ 21.4	89,223	△ 2.9
令和元. 5	236,073	△ 0.2	154,855	0.3	52,623	32.0	93,755	7.2
6	215,770	△ 2.9	146,768	△ 2.6	29,408	△ 9.7	73,196	△ 2.7
7	233,275	0.4	154,940	△ 3.0	26,090	△ 23.4	80,857	△ 10.0
8	258,453	△ 0.7	170,028	△ 1.8	40,786	△ 3.2	109,486	△ 2.9
9	235,384	2.2	163,738	2.1	31,818	15.7	89,027	5.2
10	227,683	△ 8.6	158,983	△ 9.0	34,620	△ 24.6	88,618	△ 8.4
11	243,323	△ 1.1	180,205	△ 2.3	41,391	8.2	105,597	10.4
12	222,632	△ 1.9	151,913	△ 0.5	27,495	8.9	78,440	6.8
令和 2. 1	206,156	△ 1.6	134,916	1.2	24,069	△ 4.0	70,972	6.0
2	191,563	△ 2.6	128,400	2.6	24,986	3.5	68,108	8.0
3	196,325	△ 17.0	129,241	△ 13.7	24,557	△ 9.0	71,121	△ 8.3
4	136,178	△ 39.8	94,164	△ 35.8	19,617	△ 56.6	51,451	△ 42.3
5	125,865	△ 46.7	89,328	△ 42.3	21,090	△ 59.9	44,530	△ 52.5
6	171,397	△ 20.6	118,462	△ 19.3	27,869	△ 5.2	61,434	△ 16.1
資料出所	中日本高速道路（株）名古屋支社飯田保全サービスセンター							